

授業科目名(英文名)	建築設計特論A (Theory of the architectural design A)				
担当者名	西村 謙司				
学年	1	学期	前期	必修選択	選択
教科書	適宜配布します。				
目的または到達目標	建築家・建築技術者として建築設計を行うにあたって、建築設計のあり方を原理的に反省し、現代における建築技術者の根本的課題を明らかにする。また、近現代の建築家の作品分析を通して建築設計のあり方の規範を習得する。特に、現象学に基づいて体系化されつつある建築的場所論・風景論の立場から、建築設計作品の制作根拠の究明をめざす。				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 建築家ということ 2 建築技術者の職能と職場 3 建築とは何であるか 4 建築行為のあり方 5 建築の「場所」 6 建築の「風景」 7 建築において「みる」ということ 8 近代以前の建築家像 9 近現代の建築家像 10 現代・日本の建築家像 11 ル・コルビュジエの仕事 12 フランク・ロイド・ライトの仕事 13 ルイス・カーンの仕事 14 磯崎新の仕事 15 現代建築技術者の課題 				
関連科目					
受講心得	建築設計に関する専門授業を実践的な状況を前提として行うものです。将来建築士をめざす技術者の基礎的知識と技術を習得することを念頭に授業を行いますので、その心得をもって受講してください。				
課題・質問等の受付方法					
授業の形式	輪読形式				
履修上の注意または履修条件	1級建築士の実務経験認定関連科目に指定されている講義です。建築学科の卒業生を対象とする専門科目となります。				
成績評価の方法	受講態度・出席・レポート等にて総合的に評価します。				
参考文献及び指定図書					